平成30年度　国内旅程管理研修
受　講　案　内

一般社団法人　全国旅行業協会

当協会の国内旅程管理研修を全課程修了することにより、旅行業法第12条の11で定める実務の経験を有するものとなります。

1．受講資格

旅行業法第6条第1項第1号から第6号までのいずれにも該当しない者であって、下記の事項に該当する者とします。

(1)　旅行業者等の業務に従事する者であって当該旅行業者がその旨を証明した者(旅行業者代理業者の業務に従事する者にあっては当該旅行業者がその旨を証明した者)

(2)　現に旅行業者によって選任され、旅程管理業務を反復継続して行っている者であって、旅行業者等がその旨を証明した者

(3)　(1) 又は (2) に掲げる者となることが予定されている者であって、旅行業者や登録研修機関等が実施する研修の課程の修了、旅行業務取扱管理者試験の合格等により旅行業務に関する基礎的な知識を既に有していると認められる者であって、旅行業者等又は添乗員派遣事業者がその旨を証明した者

(4)　通訳案内士法に基づく全国通訳案内士又は地域通訳案内士の資格を有する者

注１．本研修は、旅行業法第12条の11に基づき実施します。
注２．旅行業者等の業務とは、旅行企画・手配・集客・見積・発券・添乗等をいいます。
注３．受講申込書類提出以降研修終了日まで、同一の旅行業者又はその代理業者の業務に継続して従事していることが必要です。

2．期日及び場所

受講地	研修期日	収容人員	研修会場
仙台市	12月4日（火）～5日（水）	60名	ハーネル仙台
さいたま市		30名	大宮ソニックシティ
東京都		30名	ＫＦＣ　Ｈａｌｌ＆Ｒｏｏｍｓ
大阪市		50名	エル・おおさか（大阪府立労働センター）
広島市		30名	ＲＣＣ文化センター

注）1. 研修会場の所在地等については、8頁〈別表〉を参照して下さい。
2. 各会場とも収容人員に達し次第締め切ります。
3. 受講申込者が20名に満たない会場は、研修を開催しないことがあります。

3. 科目及び時間（標準カリキュラム）

期　日	時　間	科　目　内　容
第　1　日	9：30 ～ 11：00	旅行業法
	11：10 ～ 13：10 13：10 ～ 19：40	旅程管理業務（国内旅程管理業務：実習含む）
第　2　日	9：00 ～ 10：30	旅行業約款
	10：40 ～ 12：40 13：25 ～ 16：25	旅程管理業務（国内旅程管理業務）
	16：40 ～ 17：25	修了テスト（旅行業法及び旅行業約款） （国内旅程管理業務）

注）1. 研修会場により科目の順序等が異なる場合があります。会場毎の時間割表はテキスト等に同封して送付または当日受付で配布します。
2. 研修科目の中には実習が含まれます。実習に際しては、動きやすい服装、靴等（スカートの着用はご遠慮下さい。また、男女ともにスニーカーの着用が望ましい。）を用意して下さい。

4. テキスト

受講申込書類に記入された現住所宛に受講票と併せて11月中旬頃送付しますので、**必ず予習しておいて下さい。**なお、未着の場合は、(一社)全国旅行業協会 本部事務局 研修係へお問い合わせ下さい。

5. 合否結果(修了証明書及び不合格通知の送付につきましては、平成30年12月下旬頃となります。)

次の各項を満たした方を修了者とし、修了証明書を交付いたします。

(1) 全日程・全科目を受講していること。

(2) 修了テストの全科目の成績が一定の基準に達していること。

注）1. 一定の基準に達しない科目が１科目でもあった場合は、未修了となります。
2. 修了していない科目がある方は未修了科目の再テストを受けることができます。未修了科目の再テスト日時等につきましては、合否結果を発表後に連絡いたします。

6. 受講料

25,100円（消費税込み）

注）1. 受講申込書類を受理し、受講票を交付した後は、理由のいかんにかかわらず返金いたしません。
2. 交通費、食事代及び個人的費用は含まれておりません。
3. 宿泊される方は、各自でご手配下さい。

7. 受講手続

(1) 受講申込書類　(一社) 全国旅行業協会が配布する所定のものを使用して下さい。
なお、次に該当する方は受講申込書類と併せて下記のいずれかの書類を提出していただきます。

- 受講資格 (3) に該当する方（採用予定者）
  ⇒受講資格に掲げる旅行業務に関する基礎的な知識を有することを証明する書類として、**研修の修了証等または、旅行業務取扱管理者試験合格証のコピー**
- 受講資格 (4) に該当する方（全国又は地域通訳案内士）
  ⇒受講資格に掲げる全国又は地域通訳案内士の資格を有することを証明する書類として、**各都道府県（地域通訳案内士の場合は、各自治体）の発行する通訳案内士登録証のコピー**

(2) 受講申込書類提出期間　平成30年9月19日(水)から**10月30日(火)まで**

受講申込書類提出期間内に到着(必着)したものを受け付けます。

(3) 申込方法

① 受講料を郵便局備付の「払込取扱票」により、郵便局の振替窓口を利用して下記の口座へ払い込んで下さい。

なお、払込みの際に郵便局に支払う払込手数料は払込人（受講申込者）の負担となります。また、郵便局から「振替払込請求書兼受領証」を必ず受け取って下さい。

受講料払込先（郵便局）

口　座　記　号　番　号	加　入　者　名
００１９０－６－４０５９０３	一般社団法人　全国旅行業協会

② (一社)全国旅行業協会所定の受講申込書類に必要事項を記入するとともに、郵便局より受領した「振替払込請求書兼受領証」のコピー及び「写真」を所定の位置に貼り付けた上、所属旅行業者の代表者の職歴証明印（**役職印**）を受け、下記の受講申込書類提出先へ必ず**簡易書留郵便にて郵送して下さい。**

なお、**封筒の表面に「受講申込書類在中」と朱書して下さい。**

注）1. 受講申込書類の受講料払込証明欄に「振替払込請求書兼受領証」のコピーが貼り付けられていない場合は、受講料未納として取り扱います。

2. 受講申込者が5名以上の場合に限り、受講申込書類の提出及び受講料の払込みを旅行業者の代表者が一括して行うことができます。希望者は、10月1日（月）までに（一社）全国旅行業協会本部事務局研修係へお問い合わせ下さい。

3. 受講料については、現金書留及び現金持参のいずれの方法による納入も受け付けません。

4. 受講申込書類については、直接持参されても受け取りません。

受講申込書類提出先(簡易書留にて郵送して下さい)

〒107-0052

東京都港区赤坂4-2-19　赤坂シャスタイーストビル3階

一般社団法人 全国旅行業協会　本部事務局研修係

(4) 受講の受付

①前記（2）の期間に提出された受講申込書類及び受講料については、完備している申込者より先着順に受理します。なお、各会場とも収容人員に達し次第締め切ります。申込受理者が会場の収容人員に達した場合は、受講願書に記載された第２希望の会場へ順次振り替えさせていただきます。また、第２希望の記載がない場合は、第１希望会場以外で受講する意志がないものとして、**受講申込書類・受講料を手数料を差し引いてお返しいたします。**（該当者には、振り替えた会場名を10月末までにご連絡いたします。）

②受講申込書に、受講希望者が20名に満たなかった会場を受講希望地として記入された方については10月末までにご連絡いたします。

注）1. **受講申込書類の記入内容及び捺印に不備がある場合または受講料が未納の場合は、提出されても受理せずに返却します。**
2. 受講希望地は申込者の選択によりますが、受講申込書類を受理した後の変更はできません。
3. 一旦受理した受講申込書類は、理由のいかんにかかわらず返却いたしません。

(5) 受講票の交付

前記（3）において受理された受講申込者の現住所へ、11月中旬頃にテキストと併せて送付します。なお、11月26日（月）になっても受講票の交付がない場合は、11月29日（木）までに、（一社）全国旅行業協会 本部事務局 研修係へお問い合わせ下さい。この期間内に問い合わせが無い場合は、交付済みとして処理します。

(6) 受講者の確認

受講者は、研修日に会場受付に受講票を提出し、確認を受けて下さい。

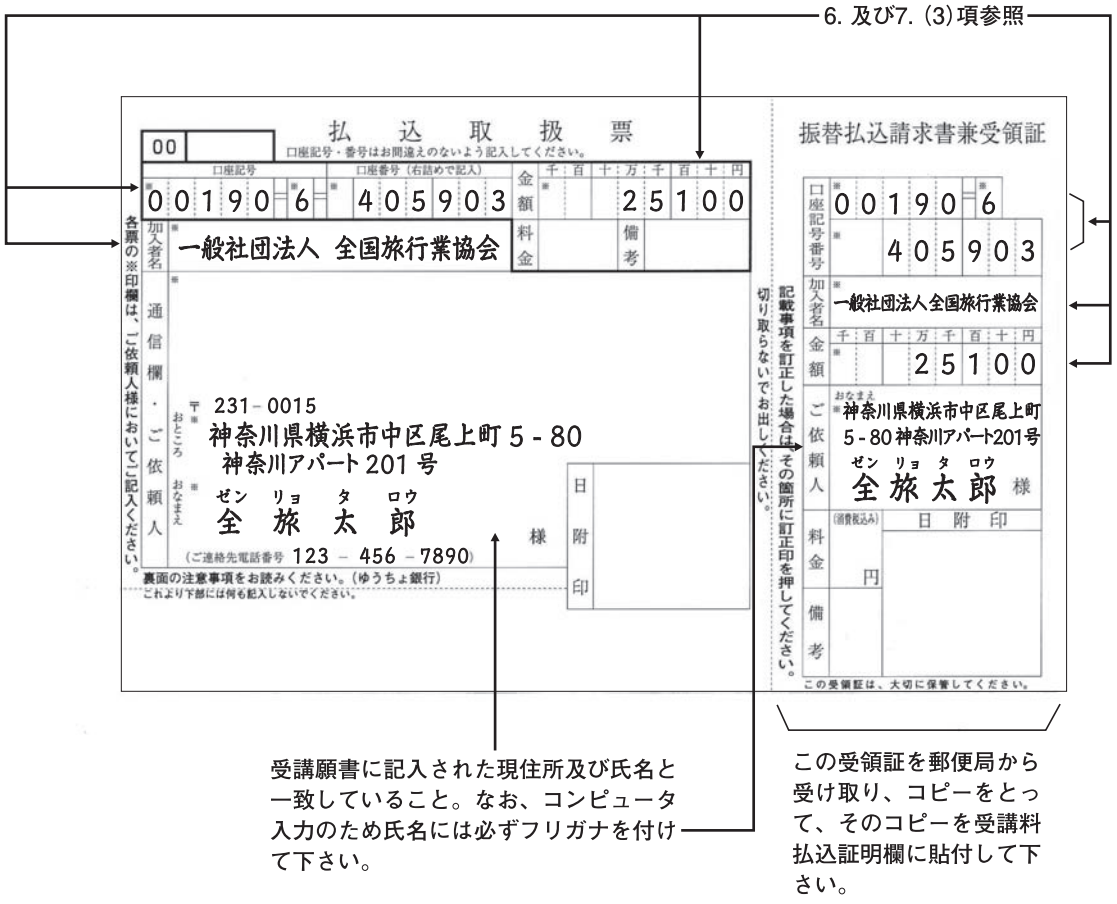
※本研修に関する問い合わせ先

一般社団法人 全国旅行業協会　本部事務局 研修係

電話番号　　03－6277－6805（平日10時～12時及び13時～17時）

8. 郵便局備付「払込取扱票」等記入上の注意事項

払込手数料は、払込人（受講申込者）の負担となります。



9. 受講申込書類記入上の注意事項

(1) 文字は、ボールペン（黒又は青）を用い、**かい書でていねいに申込者本人**が記入して下さい。
（※印の箇所には記入しないこと。また、**消えるボールペン類の使用は不可とする。**）
判読不能な文字等が記入されている場合は、受理できないことがあります。

(2) ゴム印及び修正液の使用は認められませんので、ご注意下さい（ただし、勤務先欄についてはゴム印を使用しても可）。なお、書き損じにより訂正する場合は、2本線にて抹消し、訂正箇所に本人印で訂正印を押印してください（**ただし、職歴証明書の記入内容を訂正する場合は、その証明旅行業者の代表者印（役職印）を訂正印として用いること**）。

(3) 数字は、算用数字を用いて下さい。

(4) **虚偽の記入をした場合は、受講の禁止または修了を取り消します。**特に、氏名及び生年月日は、**戸籍どおり正確**に記入して下さい。

(5) 経験年数及び添乗回数は、他の旅行業者在職時における年数及び回数を通算して記入して下さい。

(6) 写真は、最近6カ月以内に撮影した、縦4.5cm×横3.5cm、無帽、上半身、正面向、無背景で本人と確認できるものとし、写真の裏に氏名を記入の上、所定の場所に貼付して下さい。なお、顔の部分が小さいもの、不鮮明なもの等不適切な写真を貼付している場合は受理しませんので、ご注意下さい。また、受講時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影したものを貼付して下さい。

10. 受講申込書類記入例

会員・会員外の別により
該当箇所に○印

希望地が一箇所の場合は
第一希望のみ書いて下さい。

受講願書記入日

平成30年度　国内旅程管理研修
受　講　願　書

一般社団法人　全国旅行業協会会長　殿

私は受講資格を満たしておりますので、下記により
国内旅程管理研修の受講を申し込みます。

受講地　第一希望：東京都　第二希望：さいたま市
（希望する受講地を記入すること）

平成30年 10月 4日

※ 受講番号

現住所	郵便番号	231－0015
	フリガナ	カナガワ　ヨコハマ
	都道府県・市郡名	神奈川（都道府県）　横浜（市郡）
	フリガナ	ナカクオノエチョウ
	区町村丁目番地	中区尾上町5-80
	フリガナ	カナガワ
	団地アパート部屋番号等方	神奈川アパート201号
氏名	フリガナ	ゼンリョ　タロウ
	漢字	姓：全旅　名：太郎

（該当箇所に○印）

性別	男			
	女			
生年月日	昭和	年	月	日
	平成	59	4	2

本人連絡先　自宅／携帯　090（△△△△）○○○○

会員　会員外
（該当箇所に○印）

（該当箇所に○印）　忘れずに！

勤務先	登録番号	第1種旅行業／第2種旅行業／第3種旅行業／地域限定旅行業／旅行業者代理業	観光庁長官登録　神奈川（都道府県知事登録）　第9999号
	会社名	全旅協トラベル（株）	
	所属営業所名	（該当箇所に○印）主たる営業所／その他の営業所　名称：横浜営業所	
	電話番号	045（999）2142　（内線 111）	

行政庁登録名称を記入すること。

旅行業務歴	他社の経歴を含めた経験年数	9	年	3	カ月	
	他社の経歴を含めた添乗回数	国内	99	回	海外	1 回

1ヵ月未満は、切り捨て。
0の場合は“0”と記入すること。

注1）　※印の箇所は記入しないこと。
注2）　太枠内はすべて記入すること。
注3）　修正液やナイフを使用して修正しないこと。
注4）　書き損じを訂正する場合は２本線にて抹消し、訂正箇所に訂正印を押印すること。

〔本人記入欄〕

宣　誓　書

宣誓日 → 平成30年 10月 4日

一般社団法人　全国旅行業協会会長　殿

現住所	神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川アパート201号
氏名	全旅　太郎
生年月日	（該当箇所に○印）（昭和）平成 59年 4月 2日

わたくしは、旅行業務に従事している等の受講資格を満たしているとともに、次の事項に該当していないことを宣誓いたします。

1. 旅行業法第19条の規定により旅行業若しくは旅行業者代理業の登録を取り消され、又は第37条の規定により旅行サービス手配業の登録を取り消され、その取消しの日から５年を経過していない者（当該登録を取り消された者が法人である場合においては、当該取消しに係る聴聞の期日及び場所の公示の日前60日以内に当該法人の役員であった者で、当該取消しの日から５年を経過していないものを含む。）
2. 禁錮以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から５年を経過していない者
3. 暴力団員等（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。）
4. 申請前５年以内に旅行業務又は旅行サービス手配業務に関し不正な行為をした者
5. 営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人が前各号（法人にあっては、その役員のうちに第1号から第4号まで又は次号のいずれかに該当する者があるもの）のいずれかに該当するもの
6. 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産手続開始の決定を受けて復権を得ないもの

受講料払込証明欄

「振替払込請求書兼受領証」のコピー
裏面にのりを付けて貼って下さい。

（注）　受講申込者が５名以上の場合に限り、受講願書の提出及び受講料の払込みを旅行業者の代表者が一括して行うことができます。

希望者は、（一社）全国旅行業協会本部事務局研修係（受講案内参照）にお問い合わせ下さい。

団体番号の記入欄



切り取らない事

- 記入内容及び捺印に不備がある場合は受理いたしかねますので、念入りにチェックした上で提出して下さい。
- 「受講願書」に必要事項を記入し、「職歴証明書」と二枚一組で提出して下さい。
- 記入例は受講案内参照

1/2

申込者氏名・住所と
一致していること。
フリガナを忘れずに！

行政庁登録名称を記入すること。
なお、所属営業所が主たる営業所の場合は、その旨を明記すること。

〔会社（代理業者の場合は所属旅行業者）記入欄〕

職　歴　証　明　書

氏　名	全　旅　太　郎
生年月日	（該当箇所に○印）（昭和）・平成　59 年 4 月 2 日
入社年月日	（該当箇所に○印）昭和・（平成）　21 年 6 月 26 日

該当欄をチェックすること。

上記の者は、当社において
□現在勤務していること
□採用予定（採用予定日　　年　　月　　日）であること
に相違ないことを証明いたします。
※なお、採用予定者については、別途受講案内に掲げる証明書等を添付してください

忘れずに!

職歴証明日	平成30年 10 月 4 日

業務の範囲	（該当箇所に○印）第１種旅行業・（第２種旅行業）第３種旅行業・地域限定旅行業
登録番号	観光庁長官登録 / 神奈川 都道府県知事登録　第 9999 号
登録年月日	（昭和）・平成　52 年 5 月 1 日
会　社　名	全旅協トラベル（株）　全旅協トラベル株式会社之印
役　職　名	代表取締役社長
氏　名	国　内　一　郎

更新年月日を記入しないこと。

商号が会社名と異なる場合は、その旨を記入すること。

※代表者または所属長が記入すること。

＜当社における平成以降の旅行業務歴＞

元号	年	月	日		営業所名及び所属部課	取り扱った旅行業務の内容
平成	21	6	26	から	本　社 営業部	集　客
平成	23	3	31	まで		
平成	23	4	1	から	横浜営業所 国内旅行部	旅行企画手配 見積り発券
平成	30	10	4	まで		
平成				から	平成22年9月1日(株)全旅協ツーリストより全旅協トラベル(株)に名称変更	
平成				まで		
平成				から		
平成				まで		
平成				から		
平成				まで		

会社名のみの変更で、旅行業種別・登録番号とも同一の場合、変更年月日と旧社名を余白に記入すること。

法人の場合は、役職印を押印すること。
個人の場合は、行政庁提出文書の印鑑と同じものを押印すること。

注１）取り扱った旅行業務の内容の欄は、旅行企画、手配、見積り、集客、発券、添乗等取り扱っている業務を記入すること。
注２）書き損じを訂正する場合は2本線にて抹消し、訂正箇所に**訂正印**として代表者の役職印を押印すること。（修正液やナイフを使用して修正しないこと。）
注３）太枠内はすべて記入すること。

平成30年度　国内旅程管理研修（写真票）

※

受講番号

受講地	
第希望	東京都
第二希望	さいたま市

希望地が一箇所の場合は第一希望のみ書いて下さい。

（希望する受講地を記入すること）



（平成30年　9　月撮影）

印刷されている輪郭に準じた大きさの写真をはり付けること。

＜勤務先＞

会　社　名	全旅協トラベル（株）
連絡先電話番号	045（999）2142 ＜内線 111＞

行政庁登録名称を記入すること。

＜申込者＞

氏　名	全　旅　太　郎
生年月日	（該当箇所に○印）（昭和）平成 59 年 4 月 2 日生（満 34 才）

※印の箇所は記入しないこと。

＜会社（代表者）証明内容に不備または疑義がある場合の問い合わせ先＞

所属及び担当者名	総務部　山田太郎
電話番号	045（999）1470 ＜内線 123＞
ＦＡＸ番号	045（999）9999

証明内容に誤りが無いよう責任をもって充分にチェックすること。なお、
証明内容に偽りがあった場合は、その旨を行政庁へ報告することになります。

切り取らない事

・記入内容及び捺印に不備がある場合は受理いたしかねますので、念入りにチェックした上で提出して下さい。
・「職歴証明書」に必要事項を記入し、「受講願書」と二枚一組で提出して下さい。
・記入例は受講案内参照

2/2

〈別表〉会場案内(会場に直接電話等で問い合わせることは固くお断りします。)

会　場　名	所　在　地	備　　考
ハ　ー　ネ　ル　仙　台	仙台市青葉区本町2-12-7	JR「仙台駅」より徒歩15分 市営地下鉄「広瀬通駅」より徒歩3分
大宮ソニックシティ	さいたま市大宮区桜木町1-7-5	JR「大宮駅」（西口）より徒歩5分
ＫＦＣ Hall & Rooms	墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル11階	JR中央･総武線「両国駅」(東口)より徒歩6分 都営地下鉄大江戸線「両国駅」(A1出口)より徒歩1分
エ　ル　・　お　お　さ　か (大阪府立労働センター)	大阪市中央区北浜東3-14	京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より徒歩3分 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より徒歩5分
ＲＣＣ文化センター	広島市中区橋本町5-11	JR「広島駅」（南口・在来線口）より徒歩10分